

# 第17回 ゆふいん文化・記録映画祭

## YUFUIN BUNKA・KIROKU FILM FESTIVAL



上映予定作品

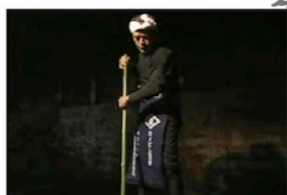
※上映作品・ゲストは変更になる場合があります。

プログラムA 6/27(金)19:00~



### 再起の一滴 ~陸前高田・老舗醤油店 1000日の記録~

2013年/30分/制作:岩手朝日テレビ/  
ディレクター:鹿野純之介/プロデューサー:佐々木貴  
陸前高田の老舗醤油店「八木澤商店」。震災で全てを失ったあの日から、雇用を守りながら醤油醸造を再開し、初しぼりの醤油を出荷するまでの苦闘1000日の記録。



### むしろ麴 ~風の港のしょう油づくり~

2006年/27分/制作:ヤマプランニング/監督:山口豊寧  
江戸時代から港町として発展してきた東かがわ市引田に、伝統的な醤油製造技術が伝承されている。蒸した大豆といった小麦で麴をつくり、むしろに広げて育てる「むしろ麴製法」。醤油醸造業の歴史的背景と自然と伝統の技でつくる独特の醸造技術をわかりやすく紹介する。



### 杜氏たちの春 ~さつま本格焼酎をつくる~

1978年/29分/制作:岩波映画製作所/  
企画:薩摩酒造/脚本・監督:諏訪淳/撮影:西尾清  
焼酎のルーツを探り、歴史を見ながら古式と現在の造りが、鹿兒島の風土の中で展開される。それぞれの蔵元に焼酎造りに出た杜氏と蔵人たちが、造った焼酎を土産に自分の村に持ち帰り互いに味わう。造り手の人間味が浮き彫りになった味わい深い作品。

プログラムB 6/28(土)10:00~



### オインサをつくる ~発酵の魅力~

1996年/33分/制作:桜映画社/演出:松川八洲雄  
有史以来、自然の微生物を利用し発酵作用で作りだしてきた伝統的な食品は、世界各地で風土と文化に支えられて独自に発展し、そのオインサで土地土地に生きる民族を魅了してきた。日本や中国、トルコ、ヨーロッパに取材し、発酵食品が風土や文化の中でどのような位置を占めてきたか自然がくれた最高の贈り物=おいしさをつくる発酵の魅力を探る。



### 特別生乳はなぜ良いのか

1937年頃/10分/編集:原馨/撮影:荒川勝弥  
戦前に東京郊外の西武新宿線花小金井駅そばにあつた近代的な牛乳工場「小児牛乳」の安全性と栄養を主婦向けに紹介したPR映画。雑誌『栄養と料理』の昭和13年6月号に工場見学記があり、その頃の製作と思われる。いまやめつたに見られない珍しく貴重な映像。



### チーズ ~その魅力とロマン~

1983年/29分/制作:電通映画社/企画:雪印乳業  
雪印乳業の創立50年記念作品として制作された作品。ヨーロッパ各国各地のチーズとその由来を、丁寧に取材・収録した。各地の気候と風土によって育まれる地域独特のチーズづくりの様子を、わかりやすい解説と共に旅情深く紹介する。

◆上映後 ゲストトーク◆  
しんり  
上浦真理さん(湯布院在住 チーズ職人)

見たら、きっと  
美味しい焼酎が  
呑みたくなる!

見たら、きっと  
美味しいチーズが  
食べたくなる!

プログラムC 6/28(土)12:40~【記録映画の保存と活用を考える vol.2】

いまや紛失消散の危機にある貴重な記録映画の数々…。どこで、誰が、どのように管理・保存・活用していくのか。映画保存が抱える様々な課題、その解決策について、国立近代フィルムセンターに保存されている貴重で珍しい昔のフィルム映像を見ながら、映画保存の専門家にお話を聞く。昨年好評に引き続き第2弾。

『アサヒホームグラフ No.71』  
1941年/製作:朝日新聞社/提供:朝日映画/  
後援:大政翼賛会宣傳部/9分/白黒/トーキー

『和田豊治翁 頌徳碑除幕式  
昭和十六年三月廿二日 於中津市』  
1941年/製作:日本光音工業株式会社/12分/白黒/サウンド

『大正十二年四月十五日  
於向島 和田豊治家園遊會』  
1923年/製作:日本活動寫眞株式会社/9分/染色/サウンド

『小鹿田焼 民藝を訪ねて』  
1957年/製作:西日本映画社/録音:西川発声映画研究所/提供:日本視覚教材/17分/白黒/トーキー

◆お話・解説◆  
とちぎ あきらさん  
(東京国立近代近代美術館フィルムセンター)

プログラムE 6/28(土)17:50~



### ある精肉店のはなし

2013年/108分/監督:額綱あや/  
プロデューサー:本橋成一/撮影:大久保千津奈

いのちを食べて人は生きる。「生」の本質を見続けてきた家族の記録。大阪貝塚家で代々、家族経営で育てた牛を家族で屠畜・食肉処理し、販売している精肉店を営む一家を、温かなまなざしで見つめたドキュメンタリー。7代目として家業を継いだ兄弟・家族4人は呼吸を合わせながら熟練の手つきで牛を解体し、きれいに切り分けて店頭並べる、その見事な手さばき。被差別部落出身者として理不尽な差別を受けながらも、牛の命と正面から向き合ってきた家族の姿が感動を呼ぶ。監督は、原発開発計画に反対する山口県祝島の人々を描いて大きな反響を呼んだ「祝(ほうり)の島」の額綱あやの第2作。

いま全国各地で  
大評判の話題作。  
監督トークと共に由布院に  
やってくる!



◆上映後  
ゲストトーク◆  
はなぶさ  
額綱 あやさん  
(監督)

プログラムF 6/29(日)10:00~【野村正昭さんと観るドキュメンタリー映画】

「ゆふいん文化・記録映画祭」の第一回立ち上げ時より、当映画祭コーディネーターとしてご協力いただいている映画評論家・野村正昭さん。お薦め映画を観ながら、野村さんのドキュメンタリー論、文化・記録映画に対する想い等をお聞きます。



### 時が乱吹く

1991年/64分/製作・監督:金井勝  
「歌・句・詩」をテーマに幻想的な世界を、それぞれ三つのオムニバス 短歌篇「夢走る」、俳句篇「一本勝負のキリギリ」、詩篇「ジョーの詩が聴える」で描く実験的な映像詩歌。



### 母たち

日本の前衛的記録映画の第一人者であり、『薔薇の葬列』や『ドラ・マグラ』などの名作を撮った鬼才・松本俊夫監督の実験映画集。1967年2月から約40日間にわたって、ハレム、戦火のベトナム、ガーナなど世界各地の母子を即興ふう点描し、人種、風俗、歴史的、社会的条件などを、それぞれ異なった環境のもとにある4人の母親たちの姿を詩的タッチで描いた。野村正昭さん曰く、「小生に決定的な影響を与えた一本」。



◆上映後  
ゲストトーク◆  
野村 正昭さん  
(映画評論家)

プログラムG 6/29(日)13:00~



### 福島・生きものの記録 ~シリーズ1・被爆~

2013年/76分/製作:群像舎/監督・脚本:岩崎雅典

東京電力福島第一原発事故はチェルノブイリと同じ「レベル」7。拡散した大量の放射性物質は、生態系にどんな影響をもたらすのか。福島の生きものたちに、いま何が起ころうとしているのか。野生の生物はもとより、家畜やペット、被ばくした牛を見捨てられずに飼いつける牧場主など、人間も含めその行方を追跡する。監督は、長年にわたり野生生物の生態と環境の記録をテーマとしてきた群像舎の岩崎雅典。

福島の動物たちに  
起きている異変とは…?  
避難できずに居る  
動物たちを追う。

◆上映後  
ゲストトーク◆  
岩崎雅典さん(監督)  
池内了先生(宇宙物理学者)

プログラムH 6/29(日)15:30~

### 祭の馬

2013年/74分/製作:3JoMa Film、東風、ドキュメンタリージャパン/  
監督・撮影・編集:松林要樹

東日本大震災を生き延び、数奇な運命を歩む一頭の馬を優いまなざしで見つめたドキュメンタリー。4戦0勝、獲得賞金0円という成績しか出せずに引退した競走馬ミラーズクエスト。福島県南相馬市で余生を送ることになるが、東日本大震災が発生。津波からは奇跡的に生還するが、その時に負った傷が原因で生殖器が腫れ上がったまま、元に戻らなくなってしまふ。震災直後の福島県相馬から雪の北海道日高へ、そして神事「野馬追」が行われる夏の相馬へ。旅するミラーズクエストに寄り添いながら、映画は、馬と人とが培ってきた長い歴史を縋きつつ、とんでもない時代に生まれてしまったミラーズクエストの運命を可笑しく、優しくみつめる。苦難を乗り越えてたくましく生きるミラーズクエストの姿に目を見張られるが、放射能汚染のレッテルを貼られた馬の置かれた境遇が苦い余韻を残す。

馬たちの瞳もまた、  
静かに私たち人間の姿を  
映している。



◆上映後ゲストトーク◆  
寄田勝彦さん  
(ホースインテーパー)  
松林要樹さん(監督)  
森まゆみさん(作家)

プログラムI 6/29(日)18:10~



### オオカミの護符 ~里びとと山びとのあわいに~

2008年/114分/監督:由井英/製作:小泉修吉、小倉美恵子

関東平野を取り囲む山々に綿々と受け継がれている、お山のお守り「オオカミの護符」の謎に迫るドキュメンタリー。日本の人口が集中する関東平野を取り囲む山々、そこには自然を尊ぶ山岳信仰の素朴な生活がある。川崎市宮前区土橋の古い土蔵には「お犬さま」と呼ばれるオオカミが描かれた護符が配られ、貼られている。映画は、地区に伝わる神事、土橋御嶽講(つちはしみたけこう)を巡り、武蔵御嶽山、調布市、埼玉県三芳町、そして秩父とオオカミの護符を求めて、謎めいた旅を繰り広げ、農民たちの暮らしぶりや自然を尊ぶ姿、「山びと」とオオカミの関わりを迫る。

都会に今も  
ひっそりと息づく、  
山岳信仰の神秘の世界